

2月4日(水)

令和八年度 A日程入学試験問題

国語

— 注意事項 —

- 2 1 問題は1ページから27ページ、解答用紙は一枚である。
次の指示にしたがうこと。
- 文学部（日本文学科・中国文学科・史学科）は**1・3・4**を解答すること。
文学部（外国語文化学科・哲学科）、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、
観光まちづくり学部は**1**が必須、**2・3・4**から一つを選択して解答すること。
（解答する問題番号を、解答用紙のマーク欄にマークすること。選択問題を複数解答
した場合は無効とする）
- 4 3 解答はすべて別紙解答用紙に記入すること。
試験時間は六〇分である。

省略 の箇所は、著作権の都合上省略しています。

1

〔全学科の必須〕

文学部日本文学科・中国文学科・史学科は解答欄 **1** ～ **8** に、文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は解答欄 **1** ～ **14** に解答すること。

（文学部日本文学科・中国文学科・史学科は問一～問六で40点）

（文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は問一～問十で70点）

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

省 略

省 略

省 略

省 略

(注) ○日葡辞書―イエズス会のポルトガル人宣教師が作った、日本語学習のための辞書。

○菊人形―菊の花や葉を細工して等身大の人形の衣装とし、歌舞伎の名場面などを再現した見世物。

○巾着切り―窃盗犯であるスリの一種。

問一 二重傍線部(1)・(2)・(3)と同じ意味の語として最もふさわしいものを、次のア～オの中からそれぞれ一つ選び、(1)は解答欄

1 に、(2)は 2 に、(3)は 3 にマークしなさい。

(1)				
1	ア	イ	ウ	エ
	切り取って	しなわせて	からませて	かちあげて
	オ			突き刺して
(2)				
2	ア	イ	ウ	エ
	気分っている	論外である	妥当である	奇抜である
	オ			興奮している
(3)				
3	ア	イ	ウ	エ
	揺らぐ	昂る <small>たかぶ</small>	緩む	鼻白む
	オ			意気込む

問二 傍線部(a)の説明として最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄 4 にマークしなさい。

ア ものを作り出す人を「作者」と呼んではいたが、「作者」が作り出すものは「作物」すなわち「被造物」と呼ばれており、「作品」は神の行為を指していた世界。

イ ものを作り出す人を「作者」と呼んではいたが、「作者」が作り出すものは「作物」や「造物」と呼ばれており、「作品」とは呼ばれていなかった世界。

ウ ものを作り出す人を「作者」と呼んではいたが、「作者」が作り出すものは「うまい言いまわし」や「巧みな工夫」でしかなく、「作品」の水準にはおよばなかった世界。

エ ものを作り出す人を「作者」と呼んではいたが、「作者」が作り出す「作品」は「造物主」による世界の創造と重なるため、封印されてしまった世界。

オ ものを作り出す人を「作者」と呼んではいたが、「作者」が作り出すものは「造物主」や「デウス」の力による偽物であり、「作品」とはみなされなかった世界。

問三 傍線部 (b) の説明として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 5 にマークしなさい。

ア 「作品」は「作者」の内部から生み出された創造物であり、「作者」と「作品」とは一体であるとみなされている世界。

イ 「作品」は「作者」が生み出す本物であり、「作者」とは「作品」をそれらしく見せかけて作る存在だとみなされている世界。

ウ 「作品」は「作者」が前面に出て作った被造物であり、「作者」は「作品」のコーディネーターであるとみなされている世界。

エ 「作品」は「作者」を介して天地より生み出された造物であり、「作者」には「作品」を通して出会えるとみなされている世界。

オ 「作品」は「作者」が天地の造化のはたらきによって作り出したものであり、「作者」も「作品」の一部であるとみなされている世界。

問四 傍線部 (c) の説明として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 6 にマークしなさい。

ア 近代以降の「作者」は、「作品」をそれらしく見せかけて作ることを通じて、「作者」の内部に存在する造化の秘密に迫ることを目的とし、一方で「造物」を偽物として否定したということ。

イ 近代以降の「作者」は、「作者」自身によってすべてが創造され、自己完結した世界を持つ「作品」のみを本物と認め、単なる工作物やそれらしく見せかけて作られた「造物」を否定したということ。

ウ 近代以降の「作者」は、自らの創造物を「造物」と呼ぶことを不適切だと判断し、その代わりに「作品」を使うようになったが、「作品」には偽物という意味もあったため、その意味を否定したということ。

エ 近代以降の「作者」は、自身の中から生み出された本物であることを「作品」の絶対条件とすることによって「造物」には偽物のレッテルを貼りつけ、「造物主」となることを否定したということ。

オ 近代以降の「作者」は、内部で完結している「作品」を通じて人間を超える万物の「造化」のはたらきを「本物」としたため、「造物」が作者を前面に出すことを否定したということ。

問五 傍線部(d)の説明としてふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄 7 にマークしなさい。

ア 『青年』では、小説家志望の青年・純一がY県から上京し、翌朝一番に面識のない郷里の先輩小説家・小泉を訪問した際、起床を待つ間に根津権現へと向かい、団子坂で菊人形を目にする。菊人形の小屋の前で見物を勧める男たちはいずれも押しつけがましく横柄で、町は清潔感がなく郷里より哀れなものと青年の目に映った。対して『三四郎』では、熊本から上京した主人公・三四郎は広田先生に誘われて菊人形を目的に団子坂に向かう。坂の風情は秋の空気とあいまって心地よいものとして表現され、三四郎は自分の世界が郷里から東京へと移ったように感じる。さらに広田先生は菊人形を論評してさえている。この対比から、『青年』では菊人形を哀れで汚らしい世界に属せしめているのに対し、『三四郎』では菊人形を先進的で好ましい世界に属せしめていると読み取れるということ。

イ 『青年』では、小説家志望の青年・純一がY県から上京し、一枚の紹介状を手にして面識のない郷里の先輩小説家・大石を訪問した際、小説家の起床を待つ間に根津権現へと向かい、団子坂で菊人形を目にする。菊人形の小屋の前で見物を勧める男たちはいずれも怪しげで騒々しく、町の様子は不潔で活気もない哀れなものと青年の目に映った。対して『三四郎』では、熊本から上京してきた主人公・三四郎は広田先生に誘われて菊人形を目的に団子坂に向かう。菊人形の小屋のにぎわいは秋の空気とあいまって心地よいものとして表現され、三四郎は自分の世界が広がったように感じる。さらに広田先生は菊人形を論評してさえている。この対比から、『青年』では菊人形をうるさくて汚らしい世界に属せしめているのに対し、『三四郎』では菊人形をにぎやかで好ましい世界に属せしめていると読み取れるということ。

ウ 『青年』では、小説家志望の青年・純一がY県から上京し、紹介状を持って面識のない郷里の先輩小説家・路花を訪問した際、小説家の起床を待つ間に団子坂へと向かい、根津権現で菊人形を目にする。菊人形の小屋の前で見物を勧める男たちはいずれも怪しげで狡猾であり、町にいる血色の悪い子供が国中でもっとも哀れだと青年の目に映った。対して『三四郎』では、熊本から上京してきた主人公・三四郎は広田先生に誘われて菊人形を目的に根津権現に向かう。菊人形の小屋のにぎわいは清浄な空気とあいまって心地よいものとして表現され、三四郎は自分の世界が三つになったように感じる。さらに広田先生は菊人形を論評してさえている。この対比から、『青年』では菊人形を沈痛で不潔な世界に属せしめているのに対し、『三四郎』では菊人形をほがらかで好ましい世界に属せしめていると読み取れるということ。

エ 『青年』では、小説家志望の青年・純一がY県から上京し、紹介状を頼りに面識のない郷里の先輩小説家・大石路花を訪問した際、小説家の朝食を待つ間に根津権現へと向かい、団子坂で菊人形を目にする。菊人形の小屋の前で見物を勧める男たちはいずれも抜け目なく

怪しげで、町の様子は不潔で停滞した哀れなものと青年の目に映った。対して『三四郎』では、熊本から上京してきた主人公・三四郎は広田先生に誘われて菊人形を目的に団子坂に向かう。菊人形の小屋のにぎわいは秋の空気とあいまって心地よいものとして表現され、三四郎は自分の新しい生活を祝福されたかのように感じる。さらに広田先生は菊人形を記者に論評してさえる。この対比から、『青年』では菊人形を淀んだ汚らしい世界に属せしめているのに対し、『三四郎』では菊人形を発展的で好ましい世界に属せしめると読み取れるということ。

オ 『青年』では、小説家志望の青年・純一がY県から上京し、一枚の紹介状を頼りに面識のない郷里の先輩小説家の旅館を訪問した際、小説家の起床を待つ間に根津権現へと向かい、団子坂で菊人形を目にする。菊人形の小屋の前で見物を勧める男たちはいずれも胡乱うらんで押し売りのようであり、町の様子は狭い長屋が建つ活気のない哀れなものと青年の目に映った。対して『三四郎』では、熊本から上京してきた主人公・三四郎は広田先生に誘われて菊人形を目的に団子坂に向かう。菊人形の小屋のにぎわいが希薄な波となって心地よいものとして表現され、三四郎は自分の郷里が広がったように感じる。さらに広田先生は菊人形を論評してさえる。この対比から、『青年』では菊人形を怪しげで汚らしい世界に属せしめているのに対し、『三四郎』では菊人形を現実的で好ましい世界に属せしめると読み取れるということ。

問六 問題文の内容としてふさわしいものを、次のア～カの中から二つ選び、解答欄 8 に二つマークしなさい。

- ア イエズ会が編纂した『日葡辞書』には一六〇〇年当時の日本語で、聖書の重要な内容がすべて著されている。
- イ 「関の声」は軍神を呼び出すための作法であり、洋の東西を問わず神によって作られるものと考えられていた。
- ウ 絵画は中国で天地のはたらきである造化の秘密の解明法と考えられ、その考えは日本にも早く伝えられた。
- エ 『日葡辞書』の「作る」に「偽る」の意味が載せられており、「作品」は不適切な偽物とされていたことがわかる。
- オ 十九世紀には、祭礼の機会に日常的な材料で作られる「造り物」が、常に展示され笑いを誘う見世物となっていた。
- カ 「造り物」の中でも菊人形は笑いに欠ける存在であったため、近代日本の芸術作品として評価されることとなった。

注意 文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は、次のページに問題が続きます。



問七

(文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部のみ解答すること)

波線部 (W)・(X)・(Z) の説明として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中からそれぞれ一つ選び、(W) は解答欄 9 に、(X) は

10 に、(Z) は 11 にマークしなさい。

(W)

9

- ア 大真面目に、社会への啓蒙を發して
- イ 真面目を發揮し、文章を整えて
- ウ 不真面目に徹し、斜に構えて
- エ 生真面目に、いかめしく構えて
- オ 面目を保とうとして、格調を整えて

(X)

10

- ア 虚を突かれ、悄然しやうぜんとさせられた
- イ 困らされ、黙然とさせられた
- ウ 心を奪われ、陶然とさせられた
- エ 惑わされ、茫然ぼうぜんとさせられた
- オ 思考を乱され、慥然ぶぜんとさせられた

(Z)

11

- ア 巧妙で優越しているさま
- イ 並外れて風変わりなさま
- ウ みすばらしく情けないさま
- エ 不可思議で説明できないさま
- オ 周辺に悪影響を与えているさま

問八 (文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部のみ解答すること)

波線部 (U) の説明として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 12 にマークしなさい。

ア 手で作るという動作で作られる物には、天地や関の声、罪、時といった作者や人間個人を超えたものも含まれているため、神の力だと考えられていたということ。

イ 物は天地のはたらきや造化の秘密などにより創造されるため、物にはその物を作った作者をも上回る力があり、それが使用者により引き出されると考えられていたということ。

ウ 物作りとは天地のはたらきにより万物を創造することであり、造物主すなわち神の力によるものであるため、作者は神に等しい存在であると考えられていたということ。

エ 物は人間の力を超えた存在により作られるものであるため、作者は造化の神を迎え、その力を引き出すために絵画を描くべきだと考えられていたということ。

オ 物を作ることは人間個人の能力による営為ではなく、創造主や天地のはたらきなど、人間を超えた力が作者を通じて表わされると考えられていたということ。

問九 (文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部のみ解答すること)

波線部(V)の説明として最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄 13 にマークしなさい。

ア 祭礼の「造物」は神を迎えるために作られる仕掛けであるため、高橋由一のような著名な画家が前面に出て作るような、価値のある創作物ではないということ。

イ 祭礼の「造物」は神を迎えるために作られる仕掛けであるため、神の力により作り出されたということが強調されており、作成者は誰でもよかつたということ。

ウ 祭礼の「造物」は神を迎えるために作られる仕掛けであるため、主役は迎えて祭るべき神であるので、作成した人間は失礼がないように後方に控えていたということ。

エ 祭礼の「造物」は神を迎えるために作られる仕掛けであるため、どの神を迎えるために作成されたかが重要視され、誰が作成したかには注意が払われなかったということ。

オ 祭礼の「造物」は神を迎えるために作られる仕掛けであるため、祭礼の度に同じ様式を守ることが重要視され、徐々に技術が衰退し偽物になってしまったということ。

問十 (文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部のみ解答すること)

波線部 (Y) の説明として最もふさわしいものを、次の A～オの中から一つ選び、解答欄 14 にマークしなさい。

ア 人間であるとともにわかる形を捨えることは、造化主の仕事であり人間には許されていないため、人間から離れるために非人間的な材料を用いているという点が「造り物」の特徴であるということ。

イ 人間とはかけ離れた日常の材料を組み合わせて、一見人間らしい形象を構成してはいるものの、構成する各要素はやはり日常の用品であることが明白である点が「造り物」の特徴であるということ。

ウ 人間らしい形を捨えるために用意しうる材料が、かつては日常的に用いる生活の道具しかなかったため、人間に似せようとしても似せ切ることができずに面白いという点が「造り物」の特徴であるということ。

エ 非人間的な日常の材料を組み合わせて、なんとか人間の形だと理解できる人形を作り出すことで、人間にはとてもおよばない造化主の仕事の素晴らしさがわかるといふ点が「造り物」の特徴であるということ。

オ 人間の形を日常的な材料を組み合わせて作成し、一見人間と見紛うばかりの形状をしてはいるものの、よく見ればそれが物質の寄せ集めだとわかるため安心できるという点が「造り物」の特徴であるということ。

2

〔文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部の**選択**〕
この問題は、解答欄 **21** ～ **28** に解答すること。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(30点)

省 略

省 略

省 略

問一 二重傍線部 (1)・(2)・(3) の意味として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中からそれぞれ一つずつ選び、(1) は解答欄 21 に、(2) は 22 に、(3) は 23 にマークしなさい。

- | | |
|--|---|
| <p>(1)</p> <div style="border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 5px auto; padding: 2px;">21</div> <p>ア 死後を考えて言い残すこと
 イ 自らの過ちを悔いて嘆くこと
 ウ 残念に思つて忘れられないこと
 エ 荒廃して残っている古いものこと
 オ この世に残していった身の回りのこと</p> | <p>(2)</p> <div style="border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 5px auto; padding: 2px;">22</div> <p>ア 言葉で表された文章の本文や内容
 イ ある物ごとについて関係する事情や背景
 ウ 古くから人びとの間で語り伝えられてきた事柄
 エ 事実かどうかを問わず世間で言い交わされている話
 オ 直観的に心に浮かべることのできる外的具象や心象</p> |
|--|---|

- (3)
- 23
- ア 本質を見極めること
 イ 公然と示して主張すること
 ウ 自らの考えや意見を出すこと
 エ 無責任に勝手なことを言うこと
 オ 悲観的に考え認識しようとする事

問二 傍線部 (a) の理由として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 24 にマークしなさい。

- ア 浅野内匠頭の用いた見立ての見事さを、読者は適当な言葉にして表現することができずにきたから。
 イ 浅野内匠頭が作ったかどうかは別にして、読者は詠者の絶望を思いやって感動してきたから。
 ウ 浅野内匠頭が死に追いやられた自分を花に見立てている技巧の上手さに、読者は感心してきたから。
 エ 浅野内匠頭の身に起きた歴史的事実を、読者は擬花法とでも言うべき見立てと考えて解釈してきたから。
 オ 浅野内匠頭が作った辞世であることに、読者は特別な意味があると考えて心を揺り動かしてきたから。

問三 傍線部 (b) の理由として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 25 にマークしなさい。

ア この歌の「花」という語は内匠頭の運命と結び付いた比喩であるが、比喩によってその意味内容を強調する働きは保持していないから。
イ この歌の「花」という語は内匠頭の季節感と結び付いた比喩であるが、その見立ての効果は弱く彼の悲痛感を表現しきっていないから。
ウ この歌の「花」という語は前景の桜と後景の死の観念が認識されて理解されるが、比喩としての直接的な結び付きを曖昧にぼかしてしまっているから。

エ この歌の「花」という語は物ごとを説明するのに他の類似した物ごとを借りて表現する比喩ではなく、下位概念で上位概念を表す比喩であるから。

オ この歌の「花」という語は内匠頭の運命を託した自らの希望と祈りを表す比喩であって、読者へ理解認識を求めるような比喩ではないから。

問四 傍線部 (c) の説明として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 26 にマークしなさい。

ア 業平の歌における前景は内匠頭の歌における前景よりも感動的であるため、見立ては不要な感じがすること。
イ 業平の歌と内匠頭の歌は死という話題で共通しているものの、それぞれ歌らしいレトリックがない感じがすること。
ウ 業平の歌の見立ては内匠頭の歌の見立てよりも散文めいていて、劣っている感じがすること。
エ 業平の歌は内匠頭の歌と比べて、死という話題についての感慨がそのまま表現されていて和歌らしくない感じがすること。
オ 業平の歌は内匠頭の歌における死の認識の弱さよりも、直接的に死を志向している感じがすること。

問五 傍線部 (d) の説明として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 27 にマークしなさい。

ア ただの言葉はその〈言い回し〉よりも〈内容〉を確実に理解するように記憶を修正していく媒体であるということ。
イ ただの言葉はその〈内容〉を正確に憶えていなくても〈言い回し〉を正確に再現しようとする媒体であるということ。
ウ ただの言葉は〈言い回し〉の再現ではなく、〈内容〉を確実に理解するために形を作り直す媒体であるということ。
エ ただの言葉は〈内容〉の正確な理解が確かな〈言い回し〉の再現かを選択しようとする媒体であるということ。
オ ただの言葉はその〈言い回し〉を一旦忘れてまっさらな気持ちで〈内容〉を表現しようとする媒体であるということ。

問六 問題文の内容としてふさわしいものを、次のア～カの中から二つ選び、解答欄 28 に二つマークしなさい。

ア 内匠頭の歌における前景・後景の認識は、内匠頭の胸中を深く思い遣る〈忠臣蔵事件〉に対する悲痛感の有無によって成立するものである。

イ 内匠頭の辞世が人々に評価され、大いに感動させてきたのは、その見立ての方法と歴史的事件との関わりのためだけでなく生へのごりの観念の強さからであろう。

ウ 業平の歌にはその言葉の連なりに歌を成立させるのに必要な〈姿〉が存在せず、言葉の形が不足しているため、意味内容を伝える力が十分に備わっていない。

エ 歌にはその歌の言葉があり、それ自体一つの〈姿〉を持つモノなので、歌の内容を理解しただけではその歌を憶えていることにはならない。

オ 「ただの詞」とは〈姿〉がない詞のことであり、媒体の形が違って構わないため、その意味では解釈を広げる可能性のある言葉でもある。

カ 内匠頭の歌と業平の歌は、その〈言い回し〉にレトリックが用いられ、内容を曖昧にぼかす表現をしている点において内匠頭の歌が優れていると考えられる。

3

〔文学部日本文学科・中国文学科・史学科は **必須**。文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は **選択**〕

文学部日本文学科・中国文学科・史学科は解答欄 **41** ～ **58** に、文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は解答欄 **41** ～ **54** に解答すること。

（文学部日本文学科・中国文学科・史学科は問一～問十一で40点）

（文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は問一～問八で30点）

次の文章は、『源氏物語』の一節で、娘を兵部卿宮と結婚させたいと考えている大納言が、兵部卿宮に宛てた手紙を、兵部卿宮がかわいがっている殿上童である息子に託す場面である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

省 略

(注) ○この東―寝殿の東面。

○知る人ぞ知る―「君ならで誰にか見せむ梅の花色をも香をも知る人ぞ知る」(『古今和歌集』)による。

○光源氏といはゆる―光源氏と呼ばれるあのお方が。兵部卿宮は光源氏の孫にあたる。

○端が端にも―ほんの片端ほどにも。

○仏―釈迦。

○阿難―釈迦の弟子。釈迦の入滅後、釈迦の遺した教えを説いた時に阿難が光を發したので釈迦の再来かと思われたという。

問一 二重傍線部(1)～(4)の敬意の対象の組み合わせとして最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄 41 にマークしなさい。

- | | | | | |
|---|---------|-----------|----------|--------|
| ア | (1) 大納言 | (2) この宮たち | (3) 兵部卿宮 | (4) 仏 |
| イ | (1) 大納言 | (2) 光源氏 | (3) 兵部卿宮 | (4) 阿難 |
| ウ | (1) 光源氏 | (2) この宮たち | (3) 光源氏 | (4) 仏 |
| エ | (1) 光源氏 | (2) 光源氏 | (3) 兵部卿宮 | (4) 仏 |
| オ | (1) 光源氏 | (2) この宮たち | (3) 光源氏 | (4) 阿難 |

問二 傍線部(a)の解釈として最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄 42 にマークしなさい。

- ア 軒近くの紅梅がとても目立たない感じで咲いているのを
イ 軒近くの紅梅がまことに美しい人のように咲いていたので
ウ 軒近くの紅梅が本当に不可思議な匂いを放っているの
エ 軒近くの紅梅が先ほどまでたいへんよい匂いがしていたのを
オ 軒近くの紅梅が実にすばらしくはなやかに咲いているのを

問三 傍線部 (b)・(e) の意味として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中からそれぞれ一つずつ選び、(b) は解答欄 43 に、(e) は 44 にマークしなさい。

<div style="border: 1px solid black; width: 30px; margin: 0 auto; padding: 2px;">43</div> <div style="text-align: center;">(b)</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> アイウエオ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 格別に行事ごとに言葉にして意図的に不快に </div>	<div style="border: 1px solid black; width: 30px; margin: 0 auto; padding: 2px;">44</div> <div style="text-align: center;">(e)</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> アイウエオ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 見苦しく懐かしくこのうえなく興味深くもの寂しく </div>
---	--

問四 傍線部 (c) の内容として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 45 にマークしなさい。

- ア 依然として兵部卿宮ほどの方は出て来るまいと思ひ申しあげた世の人のひいき目のせいだったのだろうか、ということ
- イ やはり光源氏ほどの方はほかにいないだろうと思ひ申しあげた私の心のなせるわざだったのだろうか、ということ
- ウ 依然として光源氏のことを比類ないだろうと思ひ申しあげている世の人の気持ちのせいなのだろうか、ということ
- エ やはり兵部卿宮のことをこのうえない方だろうと思ひ申しあげていた私の思い込みのためだったのだろうか、ということ
- オ いつまでも光源氏のことを特別な方だろうと思ひ申しあげている兵部卿宮の肩入れのせいなのだろうか、ということ

問五 傍線部 (d) の解釈として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 46 にマークしなさい。

- ア 全く長生きではないだろうよ
- イ あまり短い命とはいえないな
- ウ とんでもなく短命であったな
- エ 普通の命の長さであることよ
- オ 並々の長生きではあるまいよ

問六 傍線部 (f) に示されている気持ちとして最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄 **47** にマークしなさい。

ア 兵部卿宮は光源氏に及ばないが、光源氏のかわりとなる方は兵部卿宮ぐらいしかいないからしかたがない、という気持ち

イ 光源氏はもういないので娘を兵部卿宮と結婚させたいが、どのように申し出たら承諾してくれるだろうか、という気持ち

ウ 光源氏にかわる方は兵部卿宮ぐらいしかいないが、兵部卿宮は評判がよくないのでいかんともしがたい、という気持ち

エ 光源氏はもういないのだから、いまさら跡継ぎの兵部卿宮のことを頼りにしてもどうしようもない、という気持ち

オ 兵部卿宮を光源氏の身代わりとして考えたいが、やはり光源氏のようにには思えないのでどうしたらよいか、という気持ち

問七 傍線部 (g) の和歌の内容として最もふさわしいものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄 **48** にマークしなさい。

ア お申し出がありましたとおり、まずあなたの方からおいでください。

イ 本心を書いた手紙をさしあげますから、いちどお話をさせてください。

ウ 心をこめて手紙を書きますので、もう何も尋ねないでください。

エ 考えがあつて手紙を出すのですから、よい返事を聞かせてください。

オ 他の方からのお申し出もありますので、ぜひあなたもおいでください。

問八 点線部 (一) 動詞「おはせ」・(二)「おほえ」の、

1 活用の行 2 活用の種類 3 活用形

は何か。該当するものを、次のア～カの中からそれぞれ一つずつ選び、(一)の1は解答欄 **49**、2は **50** に、3は **51** に、(二)の1は **52** に、2は **53** に、3は **54** にマークしなさい。

1	ア	ア行	イ	サ行	ウ	ハ行	エ	ヤ行	オ	ラ行	カ	ワ行
2	ア	四段活用	イ	上一段活用	ウ	上二段活用	エ	下一段活用	オ	下二段活用	カ	変格活用
3	ア	未然形	イ	連用形	ウ	終止形	エ	連体形	オ	已然形	カ	命令形

注意 文学部日本文学科・中国文学科・史学科は、次のページに問題が続きます。



問九 (日本文学科・中国文学科・史学科のみ解答すること)

波線部 (W) の解釈として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 55 にマークしなさい。

- ア 内裏にいらつしやるのだ
- イ 内裏にいらつしやるのだらう
- ウ 内裏にいらつしやるそうだ
- エ 内裏にむかっているようだ
- オ 内裏にむかっているとかいよいよ

問十 (日本文学科・中国文学科・史学科のみ解答すること)

波線部 (X)・(Y) の文法的説明として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中からそれぞれ一つずつ選び、(X) は解答欄 56 に、(Y) は 57 にマークしなさい。

- ア 完了の助動詞
- イ 断定の助動詞
- ウ 打消の助動詞
- エ 格助詞
- オ 接続助詞

問十一 (日本文学科・中国文学科・史学科のみ解答すること)

波線部 (Z) の内容として最もふさわしいものを、次の ア～オ の中から一つ選び、解答欄 58 にマークしなさい。

- ア 大納言の娘と結婚したいという気持ちから、兵部卿宮が急いで大納言邸に参上した。
- イ 兵部卿宮に親しくしてもらいたいとの心から、大納言の息子が急いで参内した。
- ウ 姉に幼い頃からかわいがってもらってきたので、大納言の息子が急いで参内した。
- エ 兵部卿宮にかわいがってもらっているため、大納言の息子が急いで兵部卿宮邸に参上した。
- オ 幼心にも兵部卿宮と姉が親しくなっと思って、大納言の息子が急いで参内した。

〔文学部日本文学科・中国文学科・史学科は **必須**。文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は **選択**〕

文学部日本文学科・中国文学科・史学科は解答欄 **61** ～ **69** に、文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は解答欄 **61** ～ **68** に解答すること。

（文学部日本文学科・中国文学科・史学科は問一～問七で20点）

（文学部外国語文化学科・哲学科、神道文化学部、法学部、経済学部、人間開発学部、観光まちづくり学部は問一～問六で30点）

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。ただし、問いの都合で返り点・送りがなを省いた部分がある。

省 略

（『韓非子』）

（注）○荆―国名。楚のこと。 ○調者―取り次ぎ役。 ○中射―侍従。 ○食―薬を飲むこと。

問一 波線部 (W) と (Y) の送りがなを含めた読み方として最もふさわしいものを、次の ア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、(W) は解答欄 **61** に、(X) は **62** に、(Y) は **63** にマークしなさい。

61	(W) 且	62	(X) 夫																
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">工</td> <td style="width: 25%;">ウ</td> <td style="width: 25%;">イ</td> <td style="width: 25%;">ア</td> </tr> <tr> <td>すでに</td> <td>かつ</td> <td>なほ</td> <td>また</td> </tr> </table>	工	ウ	イ	ア	すでに	かつ	なほ	また	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">工</td> <td style="width: 25%;">ウ</td> <td style="width: 25%;">イ</td> <td style="width: 25%;">ア</td> </tr> <tr> <td>かの</td> <td>また</td> <td>それ</td> <td>なほ</td> </tr> </table>	工	ウ	イ	ア	かの	また	それ	なほ	63	(Y) 不如
工	ウ	イ	ア																
すでに	かつ	なほ	また																
工	ウ	イ	ア																
かの	また	それ	なほ																
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">工</td> <td style="width: 25%;">ウ</td> <td style="width: 25%;">イ</td> <td style="width: 25%;">ア</td> </tr> <tr> <td>しかずと</td> <td>べからずと</td> <td>あたはずと</td> <td>しからずと</td> </tr> </table>	工	ウ	イ	ア	しかずと	べからずと	あたはずと	しからずと											
工	ウ	イ	ア																
しかずと	べからずと	あたはずと	しからずと																

問二 傍線部 (a) について、その理由を説明した文として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から一つ選び、解答欄 **64** にマークしなさい。

- ア 荆王が臣に与えるように命令し、それに従ったに過ぎないから。
- イ 謁者に薬を奪われて、臣は薬を飲むことができなかったから。
- ウ 臣が薬を飲む許可を求めたところ、謁者は可能であると答えたから。
- エ 不死の薬を献上した者が、荆王の臣下に振る舞うようにすすめたから。

問三 傍線部 (b) について、その理由を説明した文として最もふさわしいものを、次の ア～エの中から一つ選び、解答欄 **65** にマークしなさい。

- ア 客が荆王に献上するふりをして、不死の薬を中射の士に飲ませたことになるから。
- イ 誰も飲んだことのない薬を、荆王に献上して効果を確かめようとしたから。
- ウ 荆王の許可がないまま、客が自ら薬を飲んだから。
- エ 不死の薬を飲んだのに荆王に殺されたら、不死の薬ではないことになるから。

問四 傍線部(c)に該当する人物として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、解答欄 66 にマークしなさい。

ア 献不死之薬於荊王者

イ 荊王

ウ 謁者

エ 中射之士

問五 傍線部(d)について、荊王が臣を殺さなかった理由を述べた文として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、解答欄

67 にマークしなさい。

ア 客が献上した薬に効果がないことが、臣の調査によって判明したから。

イ 臣は無実である上に、臣を殺してしまうと王が客に騙されたことが知られてしまうから。

ウ 罪は臣をそそのかした謁者にあり、臣には何の落ち度もないことがわかったから。

エ 臣の説明を聞き、謁者と客の二人が王を罾にはめようとしたことを理解したから。

問六 空欄 1 に入るのに最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、解答欄 68 にマークしなさい。

ア 死薬

イ 不死之薬

ウ 毒薬

エ 良薬

注意 文学部日本文学科・中国文学科・史学科は、次のページに問題が続きます。



問七 (文学部日本文学科・中国文学科・史学科のみ解答すること)

本文の内容に合致するものを、次の ア～エ の中から一つ選び、解答欄 69 にマークしなさい。

- ア 不死の薬を飲んだ中射の士は、論理をすりかえて難を逃れた。
- イ 荆王は中射の士が展開した論理に感服したため、彼に不死の薬を与えた。
- ウ 荆王は献上された薬を毒薬と見抜いた中射の士を称えた。
- エ 荆王が殺されずに済んだのは、中射の士の機転のおかげであった。

